



社会参加委員会便り

No.17

名古屋市高年大学「鯨城学園」学生協議会
社会参加委員会
(名古屋市中区栄1-23-13鯨城学園内)

今年度のボランティア活動も順次実施されております。今回は、クラス・クラブ、個人での自主的な独自ボランティア活動の様子を投稿していただきました。

◇ 「地域のパイプ役を」

31期 国際B 小林喜久

南海トラフ巨大地震についての想定震源域も報道され、被災地の支援や今後の災害に対す備えの為「緑区」は他の区に先駆けて、「健康危機、管理サポーター(略して以下は健サポ)」を立ち上げてリーダーを任されています。災害が起きた時、避難者の健康管理や感染症予防ができる知識や技術を習得したボランティアのことです。

避難者の気持ちに寄り添いながら避難所生活をサポートします。災害が起こった時は、住民同士が助け合う共助が大切になります。集団生活では、感染症が流行する恐れがあります。「健サポ」の役割は避難所などでインフルエンザ、感染症、胃腸炎などの感染症予防やエコノミー症候群など避難所の方が災害による二次的な健康被害に遭わない為の予防対策をします。「健サポ」の活動は、災害の時だけでなく避難所開設訓練や地域の防災訓練の機会に、手洗い講習や応急手当講習を行い、住民の方にお伝えする活動をしています。

◇ こども食堂について

32期 文化A 伊藤正巳

こども食堂をご存知でしょうか。ご飯が食べられなかったり、一人で夕食を食べなくてはならないような子供に食事を提供する食堂です。私が手伝っている「ちくさこども食堂」は、月一回、開催し子供は無料で、大人は300円です。もちろん、月一回食事を提供したぐらいでは、貧困は無くなりませんが、たとえばシングルマザーの方が月一回でも夕食の支度や後片付けの心配せずゆっくりお子さんと一緒に食事をする機会になればそれで充分と考えています。また中学を筆頭に四人兄弟で毎月のように来店し、こども食堂が週一あったらいいなあと言っているのを聞いた時は、もう少し回数を増やせたらと考えたり、近くのケーキ屋さんからたくさんのお菓子を頂いた時は、「世の中はいい人達で、できている」と思いました。これからも笑顔と矜持をもって続けて行けたらと考えています。いつか、こども食堂を必要としない社会ができるまで。

◇ ボランティア活動に参加して

31期 オカリナクラブ

‘16年春、胸踊らせて入学し早や19ヶ月、専科、クラブ活動、委員会活動に励んでまいりました。春の野外演奏会、ミニ・コンサート、文化祭での初舞台等緊張しましたが、あっという間でした。

‘17年は、先生や諸先輩、クラブ代表、上手な方からの指導のもと、ボランティア活動に何度も参加出来る迄になりました。施設への演奏活動では、他クラブ(民謡)とのコラボやオカリナのみで演奏し、和気あいあいと楽しんでいます。初めての施設訪問では、ベッドの上から手を上げてタクトの様に振ってくださる方、ハミングされる方、沢山の笑顔、拍手にとても感動したものです。帰りには、「又来てください!!」「又聴かせて!!」の声にみんなで喜び会いました。(蒲鉾の板・ペットボトル・蛙鈴)等、素敵なガラクタ? との合奏でふれ合いなごみながら心がほっこり、元気を頂きました。これから、Xマスボランティアに向けて練習をし、頑張ります。

♪♪ レッツ・オカリナ ピバッ・オカリナ ♪♪

◇ 夏休みこども陶芸教室の応援をして 31期 陶芸 松永隆男

7月28日(金)、8月4日(金)の両日鯉城学園 楽陶館で夏休みこども陶芸教室が開催されました。

社会参加活動として、作品づくりのお手伝いをさせて頂きました。一塊の粘土から形あるものを作り上げる。思うものが何でも出来ます。お皿、湯飲、花瓶、筆箱、動物、人形等何でも出来ます。おじいちゃん、おばあちゃん、お母さん、お父さん、妹、家族のために沢山の湯飲を作るという小学生、可愛い♡の絵柄やデザインをあしらったお皿や筆箱、何処にもない自分だけの一品を作っている子、写真や絵で描いた図面を用意して、しっかりイメージして夢中で作陶している中学生。赤、黄、緑、青、に色をつけて作品作り、筆を持って呉須やベンガラで幾何学模様や絵柄を描いている子ら、何回も参加している子は完成度の高い作品です。

お手伝いをしながら作る喜びや思いが直接伝わって！とても共感しました。陶芸は土を自由に扱って思いを創造する。「思いを今、手元の実現できる事」子供たちの熱い姿を見て、改めて陶芸の素晴らしさ楽しさを実感した二日間でした。

◇ 園芸クラスの活動 31期 園芸 伊藤信豊

私達は、農園実習で野菜作りをしています。11月に玉葱の苗を植え収穫出来るころ、クラスの活動として、毎年市内の養護施設へ届けていることを知りました。春に玉葱、秋にはサツマイモを配達しているとのこと。私も班の仲間と配達することになりました。配達一週間前には、施設に連絡をし、場所の確認をしたりしました。その時普段通る道路沿いにあることも初めて知りました。当日農園に集合し、みんなでダンボール箱に詰め各班ごとに出発しました。到着予定時間を連絡し、無事届けることが出来ました。

後日施設の子供達の感謝の手紙が届き、クラス全員で喜びを分かち合いました。私達が育てた野菜を食べて頂けるよろこびを感じ、いい体験が出来たと思っております。卒業後もOB会の活動もあると聞き、積極的に参加していくつもりです。

◇ 2年間の持ち回り町内会長体験記 32期 園芸 杉本哲夫

私が会長の期間に、隣家の生垣・庭木に関する苦情が2件ありました。その一件は、一人住まいの家主が施設に入居した為、空家状態であつたが、東京在住のご子息に手紙を送り、現状をお伝えし改善をお願いしたところ、直ぐに対応していただきました。もう一件のお宅は、近所との交流が全くなく、電話も繋がらない状態で直接お話しが出来ないが、生活ゴミが出してあつたので、お住まいであることは間違いないと思い、手紙を書き、現状の写真を添えて庭木の剪定をお願いしたが、全く返事がありませんでした。現在個人情報保護が厳しくなっている時でもあり、区と情報を共有し、協力していただきながら問題の解決が出来たらと思いました。

◇ 今後の全学対象ボランティア活動の予定 ◇

- ・11/ 4(土) 第六回鯉城・堀川清掃大作戦(予備日11/11)
- ・3/ 11(日) 名古屋ウイメンズマラソンボランティア

